

MTVS エムズテレビスピーカーの補完資料

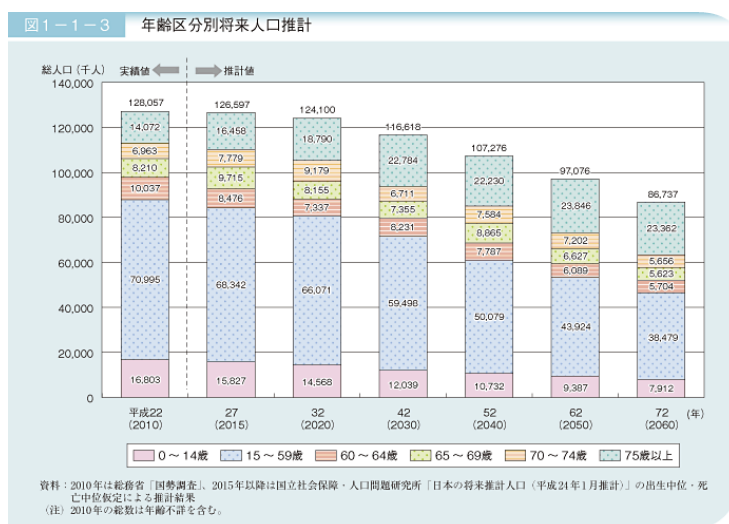
【市場の動向】

<テレビの現状>

- ・ テレビは依然としてリビングの中心
- ・ テレビの画像の進化は著しい(プラズマ→液晶→3D→4K→8K)
- ・ テレビのモニター化も進んでいる(映像を見るためのもの=インターネットからのソフト)
- ・ テレビのスピーカーの極小化(スペースがない、期待されていない、訴求しにくい) ため音声が聞き取りにくい
- ・ 2015年のテレビ出荷台数は444万台 因みに2010年のピーク時には2519万台
- ・ 日本にはいま、約1億2000万台のテレビが稼働している=おおよそ日本の総人口に等しい

<視聴者の現状>

- ・ 高齢化社会の到来 65歳以上の高齢者が3200万人≒人口の25%
- ・ 2020年には60歳以上が人口の3分の1に達する
- ・ 高齢者の視聴時間は65歳以上で活動時間のおよそ3分の1を視聴に充てている

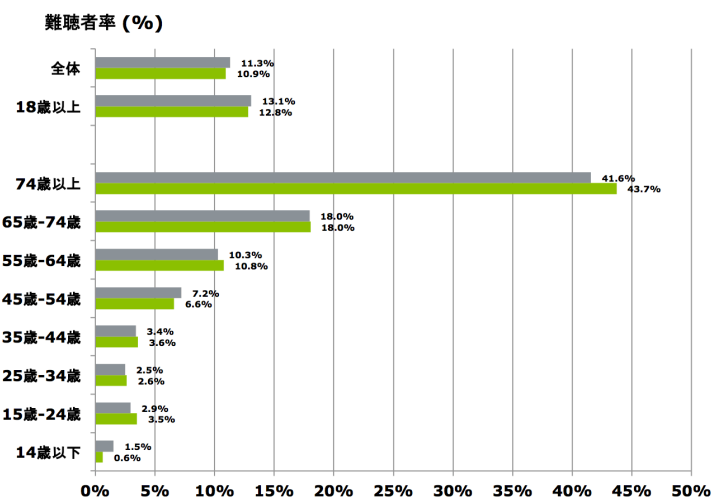


<難聴者の現状>

- ・日本の難聴者数は1428万人 人口の11%に達する
- ・視覚に関しては早くから補整するが聴覚はそのシステムがない。
70歳以上の難聴から補聴器をつける人が多いが、購入数は年間50万台。
- ・テレビの音声が聞き取りにくい為ボリュームを上げるので第三者や隣家にとっては騒音になる
- ・家族が揃う場所はリビング（ダイニング）のみ
- ・リスニングポジション（聞くべき場所）で聞いている人は少ない

難聴者率

（難聴またはおそらく難聴だと思っている人の割合）



【新製品のテレビスピーカーの強み】

- ① 多くの人にこの音を届けるため、最大マーケット（テレビ）を対象にしました。
- ② 量産モデルを設計し、価格を抑えている。
- ③ 健康家電として位置づけている。（テレビの視聴は人に与える健康への影響度も大きい。）
- ④ テレビメーカーはTVに、オーディオメーカーはオーディオに特化しておりこのマーケットに参入し難い。
- ⑤ インテリアに溶け込む、自由自在な使い方ができる。簡単な操作方法である。

【新製品のテレビ向けスピーカーの特長と優位性】

新製品の特長と優位性をまとめます。

●テレビの大きさ、設置場所など各家庭の事情に合わせて自由自在に設置できる。（*別紙チラシをご参照ください）

●長時間視聴が快適になります！

- ・聴覚の緊張が少ない為、長時間視聴しても疲れにくい
- ・音声ボリュームを上げずとも聞き取れる
- ・音がクリアであるにもかかわらず、まるで心地よい

※長時間、テレビ視聴した際に疲れを感じるのは、実は『聴覚』が原因であることが多いのです。「耳が疲れた」という表現がないため、従来は「目が疲れた」「頭が重い」「肩が凝った」などの言葉で体の不調を訴えていましたが、しかし、これは聴覚の緊張を長時間強いられることによる「耳の疲れ」が原因なのかも知れません。

●設置がとってもかんたん！です。

- ・音声出力はイヤホンジャックからケーブル1本で可能
- ・音声調整はテレビリモコンのまま可能
- ・専用アンプとセットなので別途アンプの購入は不要

●MTV Sエムズテレビスピーカーを導入すると=豊かな空間が実現します！

- ・長時間視聴しても疲れにくい
- ・テレビの前にいなくてもはっきりと聞こえる
- ・ボリューム大きくしなくても良く聞こえる

有限会社エムズシステム 代表取締役 三浦 光仁
〒104-0041 東京都中央区新富2-1-4
info@mssystem.co.jp www.mssystem.co.jp
TEL : 03-5542-7432 fax: 03-5542-7431

